



タスクを志向した 英語活動授業プラン集



平成16年(2004年)3月

茨木市教育研究所

1. はじめに

平成 14 年度の小学校学習指導要領の完全実施に伴い「総合的な学習の時間」が創設され、「国際理解に関する学習の一環として外国語会話等」の導入が可能となった。外国語の中でも、「世界の多くの場面で話されている言語であることや子どもが学習する際の負担などを考慮して」英語を取り上げることが適当であると考えられる。

本市においても、昨年度から実施している小学校を対象とした外国人英会話指導業務委託事業により、すべての小学校において、何らかの形で英語活動を実施している。そこでは、歌やゲームなどを中心に、英語に慣れ親しむことを主眼としたものが多く見られる。このような活動のためか、特に高学年において、系統性がない英語の歌やゲームを中心とした英語活動を繰り返すだけでは、児童の興味関心が十分に持続できないとの声が聞かれる。

平成 16 年度を迎えるにあたって、低・中学年から高学年への発展的な学習として「タスクを志向した活動」の授業プランを開発し実践を試みた。ここでいう「タスク(Task)」とは、与えられた課題を遂行するために言語を使い、自分の伝えたい内容を聞き手に対して、学習者が自分で考えて伝達し、目的を達成する問題解決活動と定義される。この活動こそが、本来、人間の言語活動の基本となるもので、外国語の習得においても言語をコミュニケーションの最も重要な手段であり、「生きる力」を育成する上でも必要不可欠なものであると考える。

本年度は、言語習得の最終段階である「タスク」を目的とした活動、すなわち、「タスクを志向した活動」を小学校段階での目標として、実践を通して本授業プラン集を作成した。

2. 本書の読み方

(1) 本書で取り上げた中心教材となる英語絵本と実施学年

学年	中心教材となる英語絵本
1年	<i>Where's Spot?</i> (Penguin USA, 1994)
4年	<i>From Head to Toe</i> (Hamish Hamilton Puffin Books, 1997)
5年	<i>Panda Bear, Panda Bear, What Do You See?</i> (Henry Holt and Company, 2003)
6年	<i>The Very Hungry Caterpillar</i> (Philomel Books, 1981)

(2) 本書で使用している略称

時間について

本書においては、15分を1モジュール(1M)と表記した。従って、通常の1授業時間(45分)は、3Mと表記されている。

評価について

評価規準については、「教師の支援」の欄にあわせて表記した。なお、観点としては、異文化に対する「興味・関心」、英語を使おうとする「意欲・態度」と、伝え合う力としての「表現」を設定し、それぞれ【関】、【意】、【表】と表記している。

指導者について

外国人英会話指導助手についてはALTと、学級担任についてはHRTと、表記している。

第1学年レッスンプラン

1. 単元名

英語絵本の紙芝居をつくろう～*Where's Spot?*を通して～

2. 単元のねらい

- ・ *Where's Spot?* の紙芝居をグループで協力して工夫して作成し、表現しようとする。(コミュニケーション)
- ・ *Where's Spot?* に使われている簡単な単語や表現を知り、英語に興味を持つ。(興味関心)
- ・ 英語のリズムの楽しさを味わうことができる。(異文化体験)

3. 単元構想(全10時間 30M)

活動	活動名	活動内容
3M	英語の歌を歌おう	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hello! ・ I'm So Happy
2M	英語の遊び歌を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・ London Bridge is Falling Down ・ Seven Steps
3M	英語で友だちとなかよくなろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつの表現を知る。 ・ 自分の名前を英語でいう。 ・ Happy Birthday to You を歌う。
3M	はじめましてオリビエさん～カナダってどんなくに?～	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリビエさんからカナダの自然や生活の話聞く。 ・ オリビエさんに自分の名前を英語でいう。 ・ あいさつの表現を練習する。
3M	<i>Where's Spot?</i> のお話を聞こう(このジェスチャーは何の動物かな)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数の数え方の練習をする。 ・ 動物の名前を知る。 ・ <i>Where's Spot?</i> のお話を聞く。
3M	<i>Where's Spot?</i> のお話を聞こう(動物の名前に親しもう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の名前を練習する。 ・ <i>Where's Spot?</i> のお話を聞く。 ・ Where's ～の表現になれる。
3M	<i>Where's Spot?</i> のお話に親しもう(家の中にあるものの名前を知ろう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ Bingo を歌う。 ・ 色のいい方の練習をする。 ・ 家の中にあるものの名前を知る。 ・ <i>Where's Spot?</i> のお話を聞く。
3M	<i>Where's Spot?</i> のお話を読もう。(前置詞の使い方を知ろう)	<ul style="list-style-type: none"> ・ じゃんけん勝ち抜き戦をする。 ・ 前置詞をつかった移動ゲームをする。 ・ <i>Where's Spot?</i> のお話を読む練習をする。
5M	<i>Where's Spot?</i> の紙芝居をつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに一場面を決めて絵を描き、発音練習をする。
2M	紙芝居の発表会をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いに発表を聞きあい、よさに気づく。

レッスンプラン 活動 英語の歌を歌おう (3M)

1. ねらい・日本語と違った言葉があることに気づく。
 - ・英語の歌を歌い，英語のリズムに親しむ。

2. 言語材料

Hello. How are you? I'm fine.
I'm so happy.

3. 教材・教具

CD, 歌の歌詞プリント

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援(評価規準)	使用教材
1分	1. あいさつ		
10分	2. Helloの歌を練習する ・ CDをきき，みんなで発音練習をする。 ・ 曲にあわせたおどりをみんなで作って歌いながらおどる。	・ Fの下唇の内側をはじく発音をさせる。(【関】日本語にはない発音であることに気づく。) ・ 日本語で意味を伝え、その意味にあう振り付けを考えさせる。	CD
11分	3. 歌のプリントに自分たちでイメージした絵を描く	・ 歌の意味にあう絵を描かせる。	プリント 色鉛筆
10分	4. I'm So Happyの歌を練習する。 ・ CDをきき，みんなで発音練習をする。 ・ 曲にあわせた踊りをみんなで作って，歌いながら踊る。	・ Pの息を破裂させる練習をさせる。(【関】日本語にはない発音であることに気づく。)	CD
11分	5. 歌のプリントに自分たちでイメージした絵を描く	・ 歌の意味にあう絵を描かせる。	プリント 色鉛筆
2分	6. 振り返りをする あいさつ	・ 描いた絵を互いに見せあい、お互いのよいところに気づく。	

レッスンプラン 活動 英語の遊び歌をたのしもう (2M)

1. ねらい・日本でも親しまれている遊び歌が他の国でも同じようにされていることに気づく。
 - ・英語の遊び歌を集団で楽しむ。

2. 言語材料

London bridge is falling down.
one, two, three, four, five, six, seven

3. 教材・教具

CD

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援(評価規準)	使用教材
1分	1. あいさつ		
4分	2. 英語で London Bridge is Falling Down を歌う	<ul style="list-style-type: none"> ・手拍子を打ちながら、英語のリズムに親しませる。 ・Fは下唇の内側をはじく発音をさせる。(【関】日本語にはない発音であることに気づく。) 	CD
10分	3. クラス全体で遊びながら London Bridge is Falling Down を歌う	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な大きさの声で歌いながら、活動させる。(【意】仲良く楽しく活動する。) 	CD
4分	4. 英語で Seven Steps を歌う	<ul style="list-style-type: none"> ・thの発音は舌を少し出すように発音をさせる。(【関】日本語にはない発音であることに気づく。) ・歌いながら、数字にあわせて指を使わせる。 	CD
10分	5. クラス全体で Seven Steps を歌いながら踊る	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な大きさの声で歌いながら、活動させる。(【意】仲良く楽しく活動する。) 	CD
1分	6. 振り返りをする あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめて知ったことや、できるようになったこと、楽しかったことなど、感想を発表させる。 	

レッスンプラン 活動 英語で友だちとなかよくなるう (3M)

1. ねらい・英語でのあいさつのしかたを知る。
 - ・他のクラスの友だちと楽しく活動する。

2. 言語材料

Your name, please? My name is ~.

ゲーム：インタビューゲーム

3. 教材・教具

CD, VTR, インタビューゲームのカード, シール(1人3枚クラス、グループごとに異なる色)

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
2分	2. Happy Birthday to You の歌を歌う ・お誕生日の子は前に出る。みんなでお祝いして祝う。	・二拍子で手拍子を取り、リズムと強勢を感じさせる。 (【関】英語は日本語にはないリズムや強勢があることに気づく。) ・ともだちのお誕生日をみんなでお祝いする。	CD
3分	3. VTR をみる Your name, please? My name is .	・英語での自己紹介の仕方を知る。 ・ジェスチャーに気づかせる。	VTR
10分	4. 隣同士で練習する ・何組か前で発表し、友達の発表をしっかりと見て聞く。	・たずねる時は文末を上げるように発音させる。 (【意】友達の発表の良さに気づく。)	
20分	5. インタビューゲームをする ・二つのクラスでおこなう。 ・Aのクラスはインタビューカードを持ち、Bのクラスは3枚ずつシールをもつ。 ・AのクラスはBのクラスの子どもに自由にインタビューし、答えてもらったら、シールをもらう。 ・Aのクラスの子はシールが3枚そろったら、座る。Bのクラスの子どもは、手持ちのシールがなくなったら座る。	・にこやかにていねいに会話をするように心がけさせる。 ・速く終わらせる競争ではないと、意識させ、丁寧に練習させる。(【表】すすんで英語を使おうとする。)	インタビューカード シール
1分	6. 振り返りをする あいさつ	・楽しく仲良くできた、感想を発表させる。	

レッスンプラン 活動 はじめましてオリビエさん(カナダってどんな国?) (3M)

1. ねらい・外国の自然や生活に興味, 関心をもつ。

・ALT と積極的にあいさつをしようとする。

2. 言語材料

Good morning. Good afternoon. Good evening.

Your name, please? My name is ~.

3. 教材・教具

OHC, カナダの写真, 世界地図, ローマ字名札, 朝と昼と夜の絵カード

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援(評価規準)	使用教材
1分	1. あいさつ		
15分	2. ALTの国についての紹介を聞く	・日本語で補足説明しながら, 児童から質問, 感想を引き出す。	OHC 写真
10分	3. ALTに一人一人自分の名前を言う ALT: Your name, please? 児童: My name is ~.	・目をあわせて, にこやかに答えさせる。 ・心を込めて少し強めに握手させる。 ・(【表】握手の仕方を知り, 恥ずかしがらずにする。)	
10分	4. 普段のあいさつの仕方を練習する ・ Good morning. ・ Good afternoon. ・ Good evening. 列ごとに伝言ゲームをする ・それぞれの列ごとに絵カードを前から順に手渡しして前後であいさつを交し合う	・はっきり口を開けて言えているか確認する。 ・お互い目をあわせ, 急がず, 丁寧に発音させる。	朝, 昼, 夜の絵カード
8分	5. 絵カードを使って時の設定をし, ALTと児童一人一人がその時に応じたあいさつをする ALT: Good morning. 児童: Good morning, Olivier.	・(【表】はずかしがらずにしっかり声を出して, ALTとあいさつをする。 ・(【表】ALTの言葉を正しく聞きとっている。)	朝, 昼, 夜の絵カード
1分	6. 振り返りをする あいさつ	・楽しく活動できたか, 感想を発表させる。	

レッスンプラン 活動 *Where's Spot?* のお話をきこう (このジェスチャーはなんの動物かな?) (3M)

1. ねらい・英語での数の数え方を知る。

- ・動物の名前や動物のしぐさや鳴き方の表現が日本とは異なることに気づく。
- ・英語の絵本の読み聞かせを楽しむ。

2. 言語材料

How many? Let's count. One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten.

ゲーム：最後の方はだれでしょうゲーム (Last Man Standing Game)

What is he? Dog!

動物の名前 alligator, dog, gorilla, monkey, lion, bear, elephant, hippo, penguin, snake, bird, tortoise

3. 教材・教具

動物の絵カード, トランプ(1から10), 色マグネット, *Where's Spot?*のビッグ絵本

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援(評価規準)	使用教材
1分	1. あいさつ		
5分	2. 絵をみて, 数を数える練習をする ALT: How many dogs? Let's count. HRT: One, two, three, four.	・同じ動物が何匹か描いてある絵カードを見せ, 1匹ずつに色マグネットをおきながら, ゆっくり数を発音させる。	絵カード マグネット
15分	3. 「最後の方は誰でしょう」ゲームをする ・全員立つ。担任が1から10までのトランプから1枚ぬき, その数字を英語で言う。みんなで, 端の子どもから順に数え, その数字までくると, その数字の子どもが座って, 次のトランプを抜く。最後1人が残るまでくりかえす。	・口をそろえて, カウントさせる。(【意】楽しく, ゲームの最後まで数字を数える。) ・one は口をつぼめて, ほほに息をためて, Wの発音をさせる。また, ALTの発音の仕方に注目させ, まねさせる。 (【関】日本語にはない発音であることに気づく。)	トランプ
10分	4. 動物の名前を練習する ・ALTが動物のジェスチャーや鳴き真似し, 何かあてさせる。 HRT: What is he? 児童: くま ALT: Yes. Bear. (絵カードをみせる。)	・ジェスチャーをしてから, 動物の絵カードを見せながら発音練習をさせる。 ・言いにくい動物はないか, はっきり口を開けて言えているか確認する。	絵カード
13分	5. <i>Where's Spot?</i> の本を読みきかせる	・出てくる動物の名前を英語で言わせる。	絵本
1分	6. 振り返りをする あいさつ	・学んだ単語やジェスチャーなど, 発表させる。	

レッスンプラン 活動 *Where's Spot?* のお話をきこう（動物の名前に親しもう）（3M）

1. ねらい・ゲームを通して、動物の名前や、絵本に出てくる簡単な英語表現になれる。
・英語による絵本の読み聞かせを楽しむ。

2. 言語材料

Where's the bear? Here. Bear.

動物の名前 alligator, dog, gorilla, monkey, lion, bear, elephant, hippo, penguin, snake, bird, tortoise

ゲーム：ボンゴゲーム

3. 教材・教具

動物の絵カード，ボンゴカードとおはじき 1人5つ，*Where's Spot?* のビッグ絵本

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援（評価規準）	使用教材
1分	1. あいさつ		
7分	2. 動物の名前の復習をする ・ALTの動物ジェスチャーや鳴き声でなんの動物かをあてる。 HRT: What is he? 児童: Bear.	・児童が答えてから、その動物の絵カードを見せ、動物名を発音させる。	絵カード
8分	3. 動物のカードとりゲームをする ALT: Where's the bear? HRT: Here. Bear. 児童は順にHRTのパートをする。 ジェスチャーする。	・黒板に動物カードをはりだし、その中から答えを選ばせ、発音させる。 ・ALTとともに、児童にジェスチャーさせる。 （【意】表現活動であるジェスチャーを楽しんでする。）	絵カード
20分	4. ボンゴゲームをする ・動物の書いてあるシートの上に、好きな動物5つの上に一人5つおはじきをならべる ・ALTが例えば、Where's the bear? というと、くまの上におはじきを置いていた子は Here. Bear と言いそのおはじきを取ることができる。5つともなくなったら、ボンゴといい、あがる。	・発音をして聞き取らせるが、すぐ、何の動物かわかるように絵カードを見せ、聞き取れなかったための苦手意識をもたせないようにする。 ・bearのBは唇をとじて破裂させる発音をさせる。 ・ALTの発音の仕方に注目させ、まねをさせる。	動物の絵カード ボンゴシート おはじき 1人5個
8分	5. ALTの <i>Where's Spot?</i> の読み聞かせを聞く	・“What?”と児童からそれぞれのページにかくれている動物の名前を引き出させる。	ビッグ絵本
1分	6. 振り返りをする あいさつ	・楽しかったことを発表させる。	

レッスンプラン 活動 *Where's Spot?* の本に親しもう (家の中にあるものの名前を知ろう)
(3M)

1. ねらい・家の中にある身近なものの名前を知る。

・英語の絵本に親しむ。

2. 言語材料

Where's the door? Here. Door.

家の中のもの door, clock, piano, basket, stairs, rug, wardrobe, window, desk, bed, box, sofa

色 red, blue, yellow, pink, black, brown, purple, green

ゲーム: Drawing Olivier's room 「オリビエの部屋をかこう」ゲーム

BINGO ビンゴ(ナーサリーライム)

3. 教材・教具

模造紙大の家の中の絵, 家の中のものの絵カード, CD, 絵かきシート, 色鉛筆

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援(評価規準)	使用教材
1分	1. あいさつ		
5分	2. BINGO	・黒板に BINGO と書き, 手拍子をするところは印をつける。	CD
7分	3. 家の中のものを絵カードで見て, 発音練習する ALT: What is this? 児童: ドア ALT: Yes, it's a door.	・アクセントに気をつけて, 口ごもらないように発音させる。(【関】Door や Window は, 英語ではアクセントがはっきりしていて, 発音が日本語とは違うことに気づく。	絵カード
7分	4. 家の中の模造紙大の絵から, ALT のたずねたものを探す ALT: Where's the door? 児童: Here. Door.	・発音が聞き取れるよう ALT は繰り返し発音する。 ・stairs など発音しにくいものは繰り返し練習させる。	家の中の模造紙大の絵
5分	5. 色の言い方の発音練習をする ・色鉛筆をケースごと出し, その中から ALT の発音した色の鉛筆を持ちあげ, 発音練習する。	・(【関】普段使っているレッドやイエローという言い方が英語では r や, ow と, 日本語にはない発音であることに気づく。)	色鉛筆
19分	6. ALT の発音したものをシートに色鉛筆でかく ALT: There are two blue windows.	・数字の復習もかねる。 ・発音した絵カードを少し間を置いて黒板掲示し, 苦手意識をもたせないようにする。	絵かきシート 色鉛筆 絵カード
1分	6. 振り返りをする あいさつ	・はじめて分かったこと, 授業で驚いたことなど感想を発表させる。	

レッスンプラン 活動 *Where's Spot?* の本を読もう（前置詞の使い方を知ろう）(3M)

1. ねらい・体をつかって，前置詞の使い方を知る。

・英語の絵本に親しむ。

2. 言語材料

inside the ring, inside the red (blue, yellow) ring

under the sheets (desk), behind the door (window, blackboard)

じゃんけん勝ち抜き戦 Rock, scissors, paper. One, two, three.

ゲーム：移動ゲーム

3. 教材・教具

赤と青と黄色のフラフープ各3本，大きいシート3枚，移動黒板，ビッグ絵本

絵本の各ページを1枚にコピーしたプリント（イス，机のない広い教室を使用）

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援（評価規準）	使用教材
1分	1. あいさつ		
7分	2. ALT とじゃんけん勝ち抜き戦をする ・一斉に英語でじゃんけんの掛け声をし，ALT とじゃんけんをする。勝ち残った人が残ってじゃんけんをつづける。	・ルールをまもって，楽しく活動させる。 ・国語の教材「じゃんけん」の外国のじゃんけんのしかたとかさねる。	
5分	3. プレゼンテーションを聞く ALT: Inside the ring. HRT は指示どおりにフラフープの中に入る。 ALT: Under the sheet. シーツの下にもぐる。 ALT: Behind the window. 廊下に出て，窓越しに顔を見せる。	・移動しやすい広い教室でおこなう。 ・フラフープの色を発音させる。 ・inside や behind の強勢に気をつけてリピートさせる。 （【表】顔をうごかすほど，強勢をつけて発音している。）	フラフープ 大きなシート，移動黒板
10分	4. 移動ゲームをする ALT: Inside the ring. 児童は指示通り移動する。 ALT: Behind the door.	・発音が聞き取れていれば，色を入れて指示する。 ・競争ではないので，黙って歩いて移動させる。	フラフープ 大きなシート，移動黒板
5分	5. ALT の絵本の読みきかせをきく	・絵本にでてくる動物の名前や色を英語で発音させる。	
15分	6. それぞれのグループごとに自分たちが読むページを選び，発音練習をする	・ALT はグループごとに発音練習にまわる。	プリント
1分	6. 振り返りをする あいさつ	・覚えた表現を発表させる。	

レッスンプラン 活動 絵本 *Where's Spot?* の紙芝居をつくろう (5M)

1. ねらい・今までに習った単語や表現を思い出し, 絵本 *Where's Spot* の読み聞かせを通して英語のリズムやイントネーションを感じる。
 - ・友達といっしょに絵本の1ページを創作することを楽しむ。
 - ・自分が描いた1ページの本文が読め, そのページの色や動物を英語で表現できる。

2. 言語材料

本文パターン Is he behind the door? No.
 色 red, yellow, blue, brown, pink, green, black, purple
 動物 alligator, dog, gorilla, monkey, lion, bear, elephant, hippo, penguin, snake, bird, tortoise
 前置詞 behind, inside, in, under
 家具など clock, sofa, rag, door, piano, stairs, wardrobe, basket, box

3. 教材・教具

絵本を描くための画用紙, かくし絵本にするための家具などのかくれた部分の画用紙
 絵の具, 絵本のVTR, 絵本のテープ, のり, はさみ, クレパス, ビッグ絵本

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援(評価規準)	使用教材
1分	1. あいさつ		
4分	2. 色の復習をする ・ALTが発音した色のクレパスを手に取り, 挙げる。	・(【関】 普段使っているグリーンやブラックが英語ではrやkなど, 日本語にはない発音であることを意識し, アクセントもつける。)	クレパス
7分	3. 絵本の読み聞かせをきく	・絵本にでてくる動物や家具やその色など英語で確認させる。	絵本 プリント
45分	4. 紙芝居を作る ・班ごとに絵本の1ページを描く。班で1ページ選ぶ。班のメンバーは同じページをそれぞれ一人1枚ずつ描く。そのページの隠れた部分の画用紙に好きな動物を描き, 色塗りをする。そのページ全体のおおまかな線が書かれた画用紙に色塗りをしたり, 自由に絵を付け足す。 ・2枚の画用紙を貼り付ける。	・自分たちが描いている動物やその色などをそれぞれ英語で表現できるか, 確認する。 ・(【意】 班ごとに仲良く, 楽しく活動をし, 自分からすすんで, 英語を使おうとする。)	画用紙 クレパス 絵の具 のり はさみ
10分	5. 班ごとにALTや, ビデオやテープなどで, 本文の発音練習をする	・ALTは班ごとに回って発音指導をする。 ・ALTが来ていない時は, 担任がテープやビデオなどを使って発音練習をする。	テープ VTR
7分	6. ALTと共に全体で絵本を読む	・リピートできるところはする。	絵本
1分	7. 振り返りをする あいさつ	・楽しく活動できたことを発表させる。	

レッスンプラン 活動 紙芝居の発表会をしよう (2M)

1. ねらい
- ・英語のリズムに注意しながら, *Where's Spot?* の絵本を読むことができる。
 - ・班で協力して発表の練習をする。

2. 言語材料

Is he behind the door? No.

3. 教材・教具

絵本のテープ, 前回作成した手作りの紙芝居, 感想用紙

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援(評価規準)	使用教材
10分	1. 紙芝居を発表するグループを作る ・班から一人ずつ出でて, 1冊の絵本に沿った紙芝居になるように, グループをつくる。それぞれのグループで紙芝居の練習をする。	・お話のテープや VTR を用意し, 何度も聞いて練習させる ・リズムやイントネーションに気をつけさせる。	テープ VTR 自作の紙芝居
15分	2. グループごとに発表する ・聞き手は感想用紙に感想を記入する。	・聞き手に読み手が隠し絵の部分を見せた時に英語でその動物を言わせる。 ・聞き手に顔を動かして発音するほど、リズムやイントネーションがつけられていたか、聞き取りやすい大きさの声で発音していたか、生き生きとした表情で発表していたか評価させる。 ・(【意】表現活動を楽しむ。また友達の発表を聞き, その良さに気づく。)	紙芝居 感想用紙
5分	3. 振り返りをする	・本時の感想を書かせる。	感想用紙

第4学年レッスンプラン

1. 単元名

英語絵本を2年生に読んであげよう～*From Head to Toe*を通して～

2. 単元のねらい

- ・友達の表現のよいところに気づき，進んで取り入れようとする。(気づき)
- ・“*From Head to Toe*”をグループで協力して，2年生に内容がわかるように工夫して伝えようとする。(コミュニケーション)
- ・“*From Head to Toe*”に使われている単語や表現を知り，英語に興味を持つ。(興味関心)
- ・お話や言葉のおもしろさや英語のリズムの楽しさを味わうことができる。(異文化体験)

3. 単元構想(全11時間 33M)

活動	活動名	活動内容
3M	カナダからオリビエ先生 がやって来た！ 動物の名前を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介とカナダの自然や生活の話を知る。 ・動物の名前を知る。 <u>2年生共通指導事項</u>
3M	体の部分の名前やいろい ろな動きの名前を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・体の名前や，動きを表す言葉を知る。 ・ Head Shoulders を歌う。 ・ Simon Says のゲームを通して動きを表す言葉に慣れる <u>2年生共通指導事項</u>
3M	スポーツ・遊び それでき る？	<ul style="list-style-type: none"> ・得意なことを言い合えるように Can you do it ? Yes, I can. /No, I can't.の言い方に慣れる。 ・スポーツや遊びの言い方を知る。 <u>2年生共通指導事項</u>
3M	絵本 <i>From Head to Toe</i> を読もう	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオを見る。 ・動物の動きクイズをする。 “Who am I ?” ・動物の動作に伴う音の英語表現を知り発音練習をする ・ <i>From Head to Toe</i>のお話を聞く。 ・ <i>From Head to Toe</i>で今までに習った表現を思い出し練習する I am ~. I can ~ my __. Can you do it?
12M	2年生にわかるように <i>From Head to Toe</i> のお話 を工夫して準備しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生にわかってもらうための工夫(発表方法・発表形式・内容)を考える。 ・グループで役わりを決め，練習する。 ・発表に使う道具作り
6M	友達に聞いてもらってア ドバイスをもらおう(中間 発表会をしよう)	<ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞き合って，お互いにアドバイスをする。 ・アドバイスをもとに，修正して練習する。
3M	2年生に自分達で作った <i>From Head to Toe</i> を聞か せてあげよう	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで工夫した <i>From Head to Toe</i>を2年生の前で発表する。 ・2年生に感想を聞く。

レッスンプラン 活動 動物の名前を知ろう (3M)

1. ねらい・動物の名前を知る。

・日本語と言い方の違いがあることに気づく。

2. 言語材料

What animal do you like? I like ~.

動物の名前: penguin, giraffe, buffalo, monkey, seal, gorilla, cat, crocodile, camel, donkey, elephant, parrot

ゲーム: ボンゴゲーム

3. 教材・教具

動物の絵カード黒板用, ボンゴカードとおはじき 1人5こ

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
10分	2. ALTの先生の国の動物の紹介	・質問があれば積極的に尋ねるよう促す。	OHC, 絵葉書
3分	3. プレゼンテーションを見る HRT: What animal do you like? ALT: I like cats. And you?	・今日の活動がわかるようにHRTとALTで、「好きな動物は何ですか。」と聞き合い, モデルを示す。	
10分	4. いろいろな動物の名前を知り, 「好きな動物は何ですか。」の言い方を練習する	・動物がはっきりわかるように絵カードを見せながら発音練習をさせる。 ・言いにくい動物はないか, はっきり口を開けて言えているか確認する。 (【関】日本語の言い方と発音が違うことに気づく)	動物の絵カード
20分	5. ボンゴゲームをする 動物の書いてあるシートの上に, 好きな動物5つの上に一人5つおはじきをならべる。 What animal do you like? とALTに聞く I like ~. とALTが答える ALTの言った動物の上におはじきを置いていた子はそのおはじきを取ることができる 全部のおはじきが早く無くなった子はボンゴとさけび, その子の勝ち	・“What animal do you like?” としっかり声を出して, ALTにたずねるようにさせる。 ・ALTの言う言葉をしっかり聞きとるようにさせる。	ボンゴシート おはじき 1人5個 動物の絵カード
1分	6. ふりかえりをする あいさつ	感想を言い, 今日の活動を振り返らせる。	

レッスンプラン 活動 体の部分やいろいろな動きの名前を知ろう (3M)

1. ねらい・歌やゲームを通して、体の部分やいろいろな動きの名前の言い表し方に慣れ親しむ。

・友達や先生の言う英語を聞き、楽しんで動いてみようとする。

2. 言語材料

体の部分の名前：head, shoulders, knees, toes, eyes, ears, mouth, nose, arms, foot, neck, legs, hips

動き：stomp your foot, bend your knees, clap your hands, wave your arms, raise your shoulders, turn your head, touch your~, jump, run, stop

歌・ゲーム

Head shoulders

ゲーム：Simon Says, ドキドキジェスチャーゲーム(4学年), タッチゲーム or モンスターをさがせゲーム(2学年)

3. 教材・教具

体の絵カード黒板用, 動きの絵カード(4学年), タッチゲーム用カード8グループ分
モンスターのお絵かき用紙(クラス分)(2学年)

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
2分	1. あいさつ		
3分	2. プレゼンテーションを見る HRT: How are you, Mr. Moreau? ALT: Ouch! I hit my knee on the desk. HRT: Your knee? ALT: Yes, this is my knee. Umm. HRT: Are you all right? ALT: Yes, I feel much better now. Thank you.	・ALT と HRT の会話を聞かせ、顔の表情や動きから体の部分の名前を自然に聞き取れるようにさせる。	
6分	3. 体の名前を知り, 歌にあわせて踊る Head Shoulders	・先生の2つあるものを手で押さえる動きから複数のsに自然に気づくようにさせる。	カセットテープ
13分	4. Simon Says ゲームをする	・動きの名前をALTといっしょに動いたり, カードを見ながらわからせる。 ・サイモンセスゲームをする。 (【関】歌やゲームを通して, 体や動きの名前を知ることができる)	絵カード
20分	5. 4学年 ドキドキジェスチャーゲーム 2学年 モンスターをさがせゲーム	・先生が引いたカードの動きを各グループから出てきた代表の人に皆で英語で伝える。 ・言われたとおり動けた人が得点する。 ・先生が目撃情報の通りにモンスターの絵を描く。 (【意】先生や友達の言う英語を聞きながら楽しんで活動している)	絵カード プリント
1分	6. あいさつ		

レッスンプラン 活動 スポーツ・遊び それできる？ (3M)

- ねらい・歌やゲームを通して，スポーツや遊びの名前の言い表し方を知る。
・友達や先生の言う英語を聞き，自分のできること，できないことを楽しんで答えようとする。

2. 言語材料

スポーツ・遊びの名前：jump rope ,(活動 では，なのでそろえる) ride a unicycle/
roller-skate
play soccer/ play dodge ball/ play baseball/ play basketball
do karate/ do kendo
ski/ swim/ catch fish (fish for a pond)

Can you ~? Yes, I can. No, I can't. Can you do it?

歌・ゲーム

If You're Happy

ゲーム：それできる？すごろく

3. 教材・教具

スポーツ・遊びの絵カード黒板用，すごろく8グループ分，さいころ8こ，各自すごろくのこま，イエス・ノーカード黒板用，床テープかロープ，今月の歌のテープ

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
3分	2. 歌 If You're Happy を歌う	・歌に出てくる動きを動きながら練習させる。 Clap your hands. Stomp your feet. Say Hooray!	カセットテープ
5分	3. プレゼンテーションを見る ALT: Look! I have a good thing, here. Do you know this? It's a fishing rod. Can you catch fish? HRT: Yes, I can. / No, I can't. I can do this. Can you do it? ALT: Wow! No, I can't.	・HRT と ALT とのやり取りの中で「~ができる」の言い方をわからせる。 ・HRT が自分のできることを子ども達に披露する。	
7分	4. Can you ~? を使いながら，スポーツや遊びの名前の言い方の練習をする	・ALT の発音を聞いてしっかり声を出させる。	
10分	5. イエス・ノーゲームをする ・ALT の言った事ができたらイエスできなければノーコーナーへ動く	・イエス・ノーコーナーへ動いたら，Yes, I can./ No, I can't. をしっかり言わせる。 (【関】自分のできることを積極的に言おうとする)	イエス・ノーカード ロープ
18分	6. すごろくゲームをする ・グループですごろくをし，自分のこまが止まった所で，グループの友達が，そこに書いてある絵を見て Can you ~? と聞き，答える	・動きの表現を覚えてない時は，Can you do it? という便利な表現を使えるよう支援する。 (【表】友達のできることを聞き，進んでゲームに参加し，やり取りを楽しむ)	すごろく セット
1分	7. あいさつ		

レッスンプラン 活動 絵本 *From Head to Toe* を読もう (3M)

1. ねらい・今までに習った単語や表現を思い出し, 絵本 *From Head to Toe* の読み聞かせを通して英語のリズムやイントネーションを感じる。

- ・絵本に出てくる動物の動きから, 日本語との表現の違いに気づく。
- ・友達といっしょに頭からつま先までを動かして, 絵本を楽しむ。

2. 言語材料

本文パターン

I am a **penguin** and I turn my head. Can you do it? I can do it!

歌・ゲーム

Head Shoulders, 幸せなら手をたたこう

3. 教材・教具

動物のビデオ, 動物絵カード, 絵本, 絵本のカード, 歌のテープ

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
3分	2. 歌を歌う Head Shoulders		カセットテープ
3分	3. プレゼンテーション ALT: Who am I? 児童: Olivier sensei. ALT: Yes, I m Olivier and I can arch my back. HRT: Who am I? I m ~ and I can bend my knees.	・ALT と HRT の表情や動きを見て, 今日の表現に気づかせる。	
7分	4. ビデオを見て動物の名前を思い出し, 練習する	・動物が出てきたら Who am I? と聞く。 ・出てきた順に動物のカードを黒板にはる。	動物カード
12分	5. 動物の動きクイズをする ・ALT の動きと言葉をよく聞いてどの動物の動きかを当て, 言葉の練習をする	・動物絵カードを見て動きを選ばせる。 (【関】英語の動きを表す言葉のおもしろさに気づく)	動物絵カード
16分	6. 絵本 <i>From Head to Toe</i> を聞く	・絵本の趣旨を説明し, 1 回目はしっかり聞かせる。 ・2 回目は, Can you do it? で動いてもよい事を知らせる (【表】お話を聞いて自分も積極的に動いてみようとする) (【意】英語のリズムやイントネーションを感じながらお話を聞く)	絵本
2分	7. 歌を歌う If You re Happy		テープ
1分	8. あいさつ		

レッスンプラン 活動 2年生にわかるように

*From Head to Toe*のお話を工夫して準備しよう(12M)

1. ねらい
 - ・英語のリズムに注意しながら, *From Head to Toe* の絵本を読むことができる。
 - ・2年生にわかってもらうための工夫を考え, 発表の計画を立てることができる。
 - ・自分達の役に必要なものを作り, 表現の工夫をして練習する。

2. 言語材料

I am a ~ and I ~. Can you do it? I can do it.

3. 教材・教具

絵本 *From Head to Toe* のCDあるいはテープ,
絵本のコピー, ワークシート, メトロノーム

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
45分	1. <i>From Head to Toe</i> のお話を聞き, 練習する ・ネイティブの言い方をまねて言える様練習する ・リズムや速さに注意するためにメトロノームを使って練習する	・お話のCDを用意し, 何度も聞かせて練習させる。 ・繰り返しのリズムやイントネーションを意識させるためメトロノームで早さを変えて練習するようにさせる。	CD or カセット テープ メトロ ノーム 絵本の コピー
10分	2. ALT が読んでいるビデオを見て, 読み方の工夫をしているところを話し合う	・ALTの動きや表情, 声色に変化をつけた読み方を見てそのおもしろさに気づかせる。	ビデオ
35分	3. 2年生に聞いてもらうことを知り, 2年生にわかってもらう工夫を考えながら, 自分達で考えた <i>From Head to Toe</i> の計画を立てる 《発表の方法》劇・ペープサート 《話の内容》どんな動物を入れるか 自分の得意技は? 《表現方法》声の大きさ, 速さ, 鳴き声・効果音, 動き 顔の表情	・聞き手を意識した工夫を考えさせる。 ・自分達で考えた動物とその得意技を考えさせる。 ・自分の得意技についても何を披露するか決めさせる。 ・ワークシートの項目を相互評価とさせる。	ワーク シート
45分	4. グループごとの <i>From Head To Toe</i> のお話を作り, 発表に必要な道具を製作する	・動物によって特徴のある動きを見つけさせる。 ・ALTに作った文の言葉を教えてもらい, 練習させる。	
40分	6. グループで2年生にわかってもらえるよう工夫しながら練習する	・言葉だけでなく動きや絵をつけたり, 声を変えたり, 呼びかけるように話すなど理解してもらえるように工夫する。	
5分	7. ふり返りをする	・作業の進行の確認と楽しかったことなどをふり返らせる。 (【表】2年生にわかる工夫を考えようとする)	

レッスンプラン 活動 友達に聞いてもらって
アドバイスをもらおう(中間発表会をしよう)(6M)

1. ねらい ・グループで協力して発表できる。
・各グループで録画した自分達のビデオを見て表現を工夫に気づいたり,アドバイスしたりすることができる。

2. 言語材料 I am a ~ and I (動物の特徴のある動き).
Can you do it? I can do it.

3. 教材・教具
ビデオカメラ, ふり返しカード, ひとつことカード

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
5分	1. 相互評価の項目を確かめる ・ちょうどよい声の大きさと ・わかるようにゆっくり話す ・動物に合わせて声を変える ・動物にあわせて体や絵を動かす ・動物にあわせて表情も変える ・鳴き声・効果音を入れる ・2年生に呼びかけるように話す	・2年生にわかってもらうための表現の工夫で話し合った項目が,ワークシートの相互評価の項目であることをはっきりさせる。	ワークシート ビデオカメラ
30分	2. 中間発表会をする 《発表する側》工夫した点を発表する 《発表を聞く側》ふり返しカードで相互評価した後,よい点,もっと工夫したら良い点をひとつことカードに書き,グループに渡す	・発表を見た後,ふり返しカードを書き自己評価,相互評価をさせる。 ・ビデオを見直しながらひとつことカードを書かせる。 ・工夫している点,もっと工夫したら良い点について気づかせる。 (【表】他のグループのよい点に気づく)	ふり返しカード, ひとつことカード
10分	3. お互いにアドバイスをし合う ひとつことカードをもらい,グループでよかった点,もっとこうしたらよい点を読み,確かめる	・もらったひとつことカードは,大きな台紙に張り,整理させる。 (【表】もらったアドバイスからよりよい表現を取り入れようとする)	
40分	4. アドバイスと各自の反省をもとに練習をする	・各自の反省と各グループのひとつことをもとに改善点を話し合い,修正し,練習する。	
5分	5. ふり返しをする	・修正練習の進行の確認と楽しかったことを振り返る。	

レッスンプラン 活動 2年生に自分達で作った *From Head to Toe* を聞かせてあげよう(3M)

1. ねらい
 - ・ 2年生にわかるように工夫して、お話を発表することができる。
 - ・ 友達の発表を聞き、工夫している所や良い所に気づく。

2. 言語材料

I am a ~ and I (動物の特徴のある動き).

Can you do it? I can do it.

3. 教材・教具 ふり返しカード, カセットテープ, テープレコーダー

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
4分	1. あいさつとウォーミングアップ ALTとあいさつをし, Head shoulders を歌う	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつで雰囲気作りをする。 ・ 2年生と共に楽しむよう声かけをする。 	カセットテープ
7分	2. デモンストレーションを見る 先生たちの得意技を見て、これまで習った表現を思い出す	<ul style="list-style-type: none"> ・ Can you do it? や I can do it. の言い方を思い出す。 	
24分	3. 班ごとの発表をする <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の前に発表を見る基準を把握する ・ 中間発表から改善した点に気をつけて発表する ・ 発表を終えたら、ふり返しカードを書く 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中間発表会から改善された点に気づくようにさせる。 ・ 2年生には、おもしろかったか、出てくる動物が何かわかったか、4年生の得意技がわかったか、をふり返しカードに書くように指示する。 ・ 2年生には、4年生の呼びかけに答えて、技ができるときは、I can do it! と答えるよう励ます (【表】意欲的に発表しようとしている。呼びかけに積極的に答えようとしている) 	ふり返しカード
7分	4. ふり返し <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年生と4年生で感想を交流する ・ 4年生は、中間発表から改善した点について答える ・ 2年生は、4年生に感想を発表する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4年生は、発表を終えて、中間発表から改善した点を中心に発表する。 ・ いろいろな2年生の感想を引き出す。 (【表】友達の表現のよいところに気づく。 【意】活動全体を楽しむことができたか) 	ふり返しカード
3分	5. 歌とあいさつ ALTと歌を歌って、終わりのあいさつをする If you re happy		カセットテープ

第 5 学年レッスンプラン

1. 単元名

危機に直面する動物たち *Panda Bear, Panda Bear, What Do You See?*
~ 絵本を使って ~

2. 単元のねらい

- ・ 友達の表現のよいところに気づき， 進んで取り入れようとする。(気づき)
- ・ *Panda Bear, Panda Bear, What Do You See?* を友だちと協力して演じる。(コミュニケーション)
- ・ 英語の絵本を読んだり聞いたりすることで英語のリズムを感じ話すことの楽しさを体験する。(異文化体験)
- ・ 同じ学年の違う総合学習のグループの人たちに話を聞かせ英語に興味をもってもらう。(興味関心)

3. 単元構想 (全 10 時間) 30M

活動	活動名	活動内容
	世界の動物に危機が起きている！	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の動物が絶滅の危機にさらされていることを知る。「生き物黙示録」NHK のビデオを見る。 ・ <i>Endangered Animals</i> を見てわかったことを話し合う。
	自分たちで調べよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室やインターネットで絶滅危惧される動物について調べ学習をする
	<i>Panda Bear, Panda Bear, What Do You See?</i> の絵本を見る。 動物の名前を知ろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネイティブが読み聞かせする絵本のビデオを見る。 ・ だいたいのお話の内容をつかむ。 ・ 絵本に登場してくる動物の名前を知り， 英語で発音する練習をする。
	“What do you see?” “I see (a) ~ ing.” 動物の動作表現を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペアになり何度も発音し， 会話できるよう定型文を練習する。 ・ それぞれの動物の動作を体を動かしながら英語で発音し， 絵カードであてっこする。 ・ ネイティブの発音を聞き， まねをする。
	このお話を同じ学年の友だちに英語で演じる準備をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちにわかってもらうための工夫を考える。(発表方法， 発表形式、内容)
	グループの活動を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループで取り組んだ内容を他のコースの友だちに発表する。 ・ 感想を聞く。

レッスンプラン 活動 世界の動物に危機が起こっている！（3M）

1. ねらい・すでにいろいろな動物が絶滅していることを知る。
 - ・今後絶滅が、危惧されている動物がいることを知る。

2. 言語材料

Endangered Animals から gorilla, koala, lion, panda, whale (動物の名前)
savanna, China, ocean, rain forest, Australia (地域)

3. 教材・教具

NHK のビデオ「生き物黙示録」

Hi English【東京書籍】危機に直面する動物たち

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
10分	1. あいさつと歌 “How are you?” “I’m thirsty.” “I’m fine.” “I’m hungry.” など	<ul style="list-style-type: none"> ・ Hello good bye の “Hello” “Good bye” の所だけ歌うよう促す。 ・ 自分の今の状態をあいさつで言えるよう練習する。 	CD
1分	2. 今日授業内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境問題を想起させ、学習のめあてをつかませる。 	
15分	3. 「生き物黙示録」のビデオを見る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ビデオを見た感想を動物の絶滅と関連づけながら話合わせる。 	ビデオテープ
4分	4. 活動の振り返りをする。 5. 次時の学習内容を知る。 ・ あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の絶滅や環境問題と関連づけながら振り返りカードを書かせる。 <p>“Good bye .” “See you next time.”</p>	振り返りカード

レッスンプラン 活動 絶滅しそうな動物を調べよう (3M)

1. ねらい・どのような動物が絶滅の危機にさらされているのか調べ学習をする。
 ・自分たちの生活を振り返り自分たちにできることは何か考える。

2. 方法 図書室資料, インターネット

3. 展開

時間	活動内容	教師の支援
5分	1. あいさつと歌	毎回同じ内容で行い, あいさつは自分の気持ちを伝えること歌は繰り返し歌うことで慣れさせる。
30分	2. 各自調べ学習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全体で調べ方について話し合わせる。 ・質問があれば積極的に尋ねるよう促す。 ・遠足でもらった小学生新聞にも掲載されていることを知らせる。 ・家で調べることも促す。
8分	3. わかったこと, 調べたことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業でわかったこと, 調べたことをワークシートにわかりやすくまとめさせる。 (【表】課題に対して自分が調べたことを表現する。)
2分	4. 振り返りをする。 ・あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを書かせる。 “ See you next time. ” “ Bye! ”

レッスンプラン 活動 絵本 *Panda Bear, Panda Bear, What Do You See?*を見よう(3M)

1. ねらい・オーストラリアに住んでいるネイティブスピーカーに絵本を読んでもらい英語のリズムのおもしろさを味わう。

・子どもが見ている夢は、絶滅しそうな動物たちであることを感じ取る。

2. 言語材料

Panda Bear, Panda Bear, What do you see?

Panda, bold eagle, water buffalo, spider monkey, green sea turtle, Macaroni penguin, sea lion, red wolf, whooping crane, black panther, Dreaming child

ゲーム：ボンゴゲーム

3. 教材・教具

動物の絵カード黒板用, ボンゴカードとおはじき 1人5つ

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
10分	1. あいさつと歌	Hello Good bye Hello, Good bye, I say ~ など わかっていることばは、しっかりと歌うよう支援する。	歌詞カード
10分	2. 絵本の読み聞かせを聴く。(2回)	・細かい内容はわからなくても だいたいの意味が分かれば良いことを伝え安心させる	ビデオ
5分	3. 登場する動物を知り, 動物名を発音する。	・ビデオを利用して一つずつ動物が英語で言えるように練習させる。強弱に気をつけ口ごもらないようにさせる。 ・第一音節にアクセントをおくようアドバイスする。 (【関】英語のリズムを感じ話す。)	動物絵カード
18分	4. ボンゴゲームをする。 《ボンゴゲーム》 動物の書いてあるシートの中から5つ選び、その上にひとり5つおはじきをならべる。教師が示した動物の上におはじきを置いていた子は、そのおはじきを取ることができる。全部のおはじきを取った子は、「ボンゴ!」とさけび、その子の勝ちになる。	・教師が、絵カードからひいた動物をみんなで発音練習させる。	動物の絵カード
2分	5. 活動の振り返り ・あいさつ	・がんばったところやよかったところに焦点をあて振り返らせる。 “You are great!” “You are the champion.”	

レッスンプラン 活動 What do you see ? (3M)

1. ねらい・定型表現を知り, リズムにのって楽しみながら会話できる。
 - ・レッスンプラン に出てきた動物を使って受け答えできるようにする。

2. 言語材料

What do you see?

I see a ~ing.

動物の名前 panda bear, bald eagle, water buffalo, spider monkey,
green sea turtle, macaroni penguin, sea lion, red wolf,
whooping crane, black panther, dreaming child

3. 教材・教具

動物の絵カード黒板用

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
5分	1. あいさつと歌	Hello good bye “How are you?” に対しいろいろな答え方があることを知らせる。	CD
5分	2. テープを聞きながら動物の名前を復習する。	・テープの発音をよく聞きながら練習させる。	動物の絵カード ネイティブのテープ
20分	3. ビデオを見ながら状況を想像し, 表現を考える。 “What do you see?” “I see a ~.” の定型文を理解する。	・どういう言い方がふさわしいかコミュニケーションを取りながら全体で, ペアで, 繰り返し練習させる。 (【意】友達と協力しながら英語を楽しむ。)	絵本
5分	4. 振り返りをする。 ・あいさつ	・発音や表現に焦点を当てて振り返らせる。 ・よかったところをほめる。	振り返りカード

レッスンプラン 活動 動物の動作表現を知ろう。(3M)

1. ねらい・登場してくる 10 の動物の動作を表す表現を動作と結びつけて理解する。
 ・動作を表す表現を英語のリズムを感じながら言えるようになる。

2. 言語材料

What do you see ~ ? I see a ~ .

動物の名前 : panda bear, bald eagle, water buffalo, spider monkey, green sea turtle, macaroni penguin, sea lion, red wolf, whooping crane, black panther, dreaming child

動物の動作 : soaring, charging, swimming, strutting, splashing, sneaking, flying, strolling, watching,

3. 教材・教具

動物の絵カード 黒板用

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
5分	1. あいさつと歌	Hello good bye ・覚えられたらはっきりと自信を持って歌えるよう励ます。	CD
10分	2. 前回の復習をする。 “What do you see?” “I see a ~” と動物の名前を使って会話表現の練習をする。	・リズムにのって質問する人と答える人の役になって練習させる。 (【意】友達同士でコミュニケーションを取ることができる。 【表】気持ちをこめて話す。)	動物絵カード
25分	3. 動物の動作表現を知る。 ・動物を見せて動作を当てるゲームをする。	・テープを聞きながら体を動かしながら発音練習させる。 ・同じ練習になって飽きないようゲーム感覚で行うようにする。 (【関】英語を話す楽しさを味わう。)	ネイティブの録音テープ
5分	4. 振り返りをする。 ・あいさつ	・難しかったところに焦点をあて振り返らせる。 ・がんばったところをほめる。	

レッスンプラン 活動 英語で演じる準備をしよう！ (その1)(3M)

1. ねらい
 - ・絶滅する動物のことを友だちに英語活動を通じて、わかってもらうために演じる準備をする。
 - ・一人でお話が語れるようにする。

2. 言語材料

All wild and free that's what I see.

3. 教材・教具

動物の絵カード黒板用, テープ

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
3分	1. あいさつと歌	・いつも通り自然な会話をする。	CD
15分	2. 他のコースの人に英語に興味をもってもらうためにどんな方法でお話を演じたらよいかグループで考える。	・紙芝居, 劇, ペープサート, 暗唱などできるだけいろいろな方法で演じることを提案する。	
3分	3. 各グループはどんな方法で行うか交流する。	・友だちと協力してできることを考えさせる。	
23分	4. ・各グループでお話を演じる準備をする。 ・お話のテープをかけながら準備する。	・できるだけわかりやすくするために大きくはっきり描くことを伝える。 (【表】グループで工夫して表現する。) ・机間巡視して, 活動が行き詰まっているところにアドバイスする。	全紙厚紙, ポスターカラー, マジック, 輪ゴム, 接着剤 動物の絵カード 録音テープ
1分	5. 今日の授業振り返る。 ・あいさつ	・次の活動の見通しとなるように振り返らせる。困ったことはないか確認する。	

レッスンプラン 活動

英語で演じる準備をしよう！(その2)(12M)

1. ねらい・絶滅する動物のことを違うコースの友だちに英語を通じてわかってもらうために演じる準備をする。

- ・一人でお話を語り， 英語を話す楽しさを味わう。
- ・お話を仕上げるためにみんなで工夫し協力する。

2. 言語材料

Panda Bear, Panda Bear, What Do You See? に出てくる全ての言語

3. 教材・教具

動物の絵カード黒板用

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
5分	1. あいさつと歌 “How are you?” に対して答える。	Hello good bye ・自然な気持ちで受け答えできるように自分の気持ちを伝えるようにさせる。	CD
40分	2. ・各グループで演じる準備をする。 ・一人でお話を言う練習をする。	・困っているグループに適切なアドバイスをする。 ・作業中にひとりずつ呼び，絵本を見せ話すことができるか聞き，励ます。難しいところはテープを聞かせ，発音練習をさせる。 (【関】自分から英語を話そうとする態度を養う。)	全紙厚紙， 模造紙，ポ スターカラ ー， 接着 剤， 輪ゴ ムなど テープ
45分	3. グループごとに <i>Panda Bear, Panda Bear, What Do You See?</i> のお話を作り発表に必要な道具を制作する。	・特徴のある動きが表れるよう工夫する。	
40分	4. グループでお話ができるよう工夫しながら練習する。	・ことばだけでなく声を変えたり呼びかけるように話すなど理解してもらえるように工夫する。	
5分	5. 活動の振り返りをする。	・作業がうまく進んでいるか確認し困っていることはないか振り返らせる。	

レッスンプラン グループでの活動を発表しよう！（3M）

1. ねらい・英語のリズムや役割を演じることを楽しみながら発表できる。
 ・友だちの発表を聞き、表現や工夫しているところやよいところに気づく。

2. 言語材料

動物の名前：panda bear, bold eagle, water buffalo, spider monkey, green sea turtle, macaroni penguin, sea lion, red wolf, whooping crane, black panther, dreaming child,

動物の動作：soaring, charging, swimming, strutting, splashing, sneaking, flying, strolling, watching,

定型表現：What do you see?
 I see a ~ing.

3. 教材・教具

動物の絵カード，音楽テープ，歌詞表示用，パンダぬいぐるみ

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
5分	1. あいさつ ALT, HRT とあいさつする。	・自然な気持ちで受け答えできるようにたずねる。	
3分	2. 歌を歌う。	・ Hello good bye 他のコースの児童に“ Hello ”と“ Good bye. ”は、歌うよう声をかける。	テープ
5分	2. ALT と HRT のデモンストレーションを見る。 HRT: Olivier, Olivier, what do you see? AET: I see a panda bear looking at me. HRT: Panda bear? Let me see. I see a panda bear, too. Panda bear, Panda bear, what do you see?	・ AET は、遠くのパンダを見ていてところに、HRT が、何を見ているのか尋ね、AET が答える。使っている言葉と場面と結びつける。 ・ お話の中の登場する動物の復習となるようにする。	双眼鏡，パンダのぬいぐるみ

16分	3. プレゼンテーションをする。 各グループで発表する。 Aグループ：紙芝居 Bグループ：劇 Cグループ：紙芝居 Dグループ：ペープサート	<ul style="list-style-type: none"> ・国際コースの目標を確認させる。 ・気持ちをこめて、呼びかけるように話すことを確認させる。 (【表】英語のリズムを感じ楽しみながら発表できる。) (【意】友だちの表現のよいところに気づく。)	
5分	4. 取り組んだ理由と自然保護の大切さを説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童代表が中心になって活動する。 ・登場する動物が絶滅に直面していること、環境や自然保護の大切さを呼びかける。 	
4分	5. インタビューする。	<ul style="list-style-type: none"> ・他のコースの児童には、感想を書かせ、それを元にインタビューに答えさせる。 	ワークシート
7分	6. 振り返りをする。 ・あいさつ ALTとあいさつする。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったところ、むずかしかったところなどを出させ次の活動の意欲づけをする。 (【関】これまでの活動を反省し次回の取り組みに生かす。) <ul style="list-style-type: none"> ・ “ See you again. ” “ Good bye, Olivier. ” 	ワークシート

第6学年レッスンプラン

1. 単元名

英語の劇を作ろう！～君のあおむしは何を食べた？～

2. 単元のねらい

- ・英語のリズムや話に興味を持ち、面白さを味わうことができる。(異文化体験)
- ・グループで工夫・協力し、自分たちの劇を作り、低学年にわかりやすく発表しようとする。(コミュニケーション)
- ・表現やBGMを工夫し、イメージをふくらませ、英語に興味を持つ。(興味関心)
- ・他グループの発表から、表現を学ぼうとする。(気づき)

3. 単元構想(全33M)(1M モジュール は15分)

活動	活動名	活動内容
3M	ビッグ絵本を見て、「はらぺこあおむし」を聞こう	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の絵本にふれ、英語のリズムに親しむ。 ・食べ物の名前を知る。 ・自分の好きな食べ物の絵を描き内容を大まかにつかむ。
6M	絵本の単語、表現を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物、数字、曜日の言い方を知る。 ・英語の表現とリズムに慣れる。 ・自分の好きな食べ物、数字、曜日を英語で言う。 What food do you like? like ~ . ・絵本に出てくる表現を知る。
12M	オリジナル劇を作る準備をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・班で、効果的な発表形式を考える。 ・どんな食べ物にするか決め、全体の流れを考える。 ・流れ、役割分担、小道具、音楽を決定し、練習する。
6M	中間発表をし、他の班と交流しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの発表を見て、表現の工夫点を出し合う。 ・アドバイスを参考にして改善し、練習する。
6M	自分たちの「はらぺこあおむし」を発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年にわかるように発表する。 ・ビデオ撮影したものを観る。 ・互いの感想を出し合う。 ・全体のまとめをする。

レッスンプラン 活動 ビッグ絵本を見て英語版「はらぺこあおむし」を聞こう(3M)

1. ねらい

- ・英語版「はらぺこあおむし」の話を聞いて、内容を大まかにつかむ。
- ・好きな食べ物を英語で表現する。

2. 言語材料

What food do you like? I like ~.

食べ物の名前: apple, pear, plum, strawberry, orange, chocolate cake, ice-cream cone, pickle, cheese, salami, lollipop, cherry pie, sausage, cupcake, watermelon

3. 教材・教具

ビッグ絵本, 絵描き用シート

4. 展開

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
5分	2. ビッグ絵本を見ながら「はらぺこあおむし」の読み聞かせを聞く。	・ALTの音読のリズムに注目させる。 ・感想を出し合わせ、話の大筋をつかませる。	絵本
5分	3. 内容, リズムに注意してもう一度聞く。	・あおむしの食べた物, あらすじに注目させる。	絵本
10分	4. あおむしの食べた物を英語で言ってみる。	・あおむしの食べた物を絵本で見せながら発音させる。	絵本
10分	5. 自分の好きな食べ物を英語で表現する。	・あおむしの食べた物の中で, 好きな食べ物を考えさせる。 ・英語のリズムを意識して練習させる。 What food do you like? I like ~. (【関】好きな食べ物を英語表現してみる。)	
13分	6. 好きな食べ物の絵を描く。 ・ALTと一緒に発音する。	・話のイメージを膨らませる。 ・描いた食べ物の絵を使って, 英語で発音練習をする。	絵を描く 用紙 色鉛筆
1分	7. 振り返りをする。 ・あいさつ	・お互いに意見感想を言い合って, 今日 の活動を振り返らせる。	

レッスンプラン 活動 絵本の単語, 表現を知ろう (6M)

1. ねらい

- ・もう一度, 英語版「はらぺこあおむし」の話を聞いて, 流れをつかむ。
- ・数字, 曜日, 食べ物の名前や英語表現を知る。

2. 言語材料

数字: one, two, three, four, five

曜日: Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday

食べ物: apple, pear, plum, strawberry, orange, chocolate cake, ice-cream cone, pickle, cheese, salami, lollipop, cherry pie, sausage, cupcake, watermelon

What food do you like? I like ~ .

But he was still very hungry.

3. 教材・教具

ビッグ絵本, 絵本のテープ, 絵を描いた用紙

4. 展開 (6M)

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
5分	2. ビッグ絵本を見ながら「はらぺこあおむし」のテープを聞く。	・リズムに注目させる。	絵本 テープ
15分	3. 数字, 曜日, 食べ物の名前を英語で発音練習する。	・ビッグ絵本を使って, 強弱に気をつけて発音練習させる。	テープ
30分	4. 自分の好きな食べ物, 数, 曜日を英語で表現する。 HRT: What food do you like? ALT: I like ~ . と生徒の絵を使いながら答える。 同じように生徒に尋ねていく。	・前事に自分で描いた絵を見ながら, 答えさせる。 What food do you like? I like ~ . ・ALTの表現を良く聞かせる。 ・相手に伝える気持ちを持って言わせる。 ・好きな数, 曜日で答えさせる。 (【表】英語表現を知る。)	絵を描いた用紙
34分	5. 絵本の中に出てくる英語表現の練習をする。 ・数字と単語 ・on + 曜日 ・But he was still hungry.	・少しずつ組み合わせて練習させる。 one apple, two pears, three plums, four strawberries, five oranges on Monday, on Tuesday.... ・1つのまとまりとしてリズムに気をつけて発音させる。	
5分	6. 振り返りをする。 ・あいさつ	・お互いの感想を出し合わせて今日の活動を振り返らせる。	

レッスンプラン 活動 オリジナル劇を作る準備をしよう(12M)

1. ねらい

- ・英語のリズム、表現を知り、低学年によくわかるような発表形式を考える。
- ・表現や小道具、BGMを考えながら、自分たちの劇を協力して作る。

2. 言語材料

食べ物の名前: apple, pear, plum, strawberry, orange, chocolate cake, ice-cream cone, pickle, cheese, salami, lollipop, cherry pie, sausage, cupcake, watermelon

曜日: Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday

But he was still very hungry.

3. 教材・教具

ビッグ絵本、絵本のテープ(各班)、流れ&大小道具リスト

4. 展開(12M分)

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
5分	2. ビッグ絵本を見ながら「はらぺこあおむし」の読み聞かせを聞く。	・内容と発音を思い出させる。	絵本
30分	3. 単語、表現の発音練習をする。	・強弱に気をつけて発音させる。(th, r, f, v の口の形にも注目させる。) ・繰り返し出てくる表現に慣れさせる。	
50分	4. 班で発表に向けての話し合いと、準備をする。	・低学年に対して、効果的な発表形式を考えさせる。 ・あおむしが食べた物を自分たちで考えさせ、大まかな筋をたてさせる。 ・言いにくい表現は、テープを使って、班で協力して表現練習をさせる。 ・必要な大小道具のリストを作らせて、準備をさせる。 (【表】英語のリズム、表現を知り、低学年によくわかるような発表形式を考える。)	テープ 流れ&大小道具リスト
30分	5. 発表にむけての練習をする。単語や表現の練習をする。	・テープを使って、班で協力して表現練習をさせる。 ・わからないところは、ALTに積極的に尋ねさせる。	
4分	6. 振り返りをする。 ・あいさつ	・感想を互いに出させて、今日の活動を振り返らせる。	

LESSON PLAN 活動 中間発表をし、他班と交流しよう(6M)

1.ねらい

- ・互いの中間発表を見て、表現の工夫点を出し合う
- ・自分たちの発表をよりよくなるよう改善点を考える。

2.言語材料

絵本に出てくる表現すべて

3.教材・教具

絵本のテープ, チェックシート

4.展開(6M分)

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1.あいさつ		
8分	2.班で自分たちの発表の準備をする。	・全体の流れや強弱に気をつけて、発音させる。	テープ
30分	3.班ごとに発表する。 チェックシートに記入する。	・お互いの良いところや練習の時に気をつけたことを出させる。 ・シートに丁寧に記入させる。	チェックシート
20分	4.班でチェックシートをまとめる。 ・工夫点をまとめ、改善点を考える。	・他班からのアドバイスをもとにして、よりよい発表になるように話し合いをさせる。 ・大小道具の効果的な使い方、演出の仕方など、さらに工夫する点をまとめさせる。 (【意】改善点をはっきりし、自分たちの発表をよりよくなるよう工夫する)	
30分	6.発表の仕上げをする。	・改善点をふまえながら、練習させる。	
1分	7.振り返りをする。 ・あいさつ	・感想を出し合わせて、今日の活動を振り返らせる。	

LESSON PLAN 活動 自分たちの「はらぺこあおむし」を発表しよう(6M)

1. ねらい

- ・低学年に対してわかりやすい発表にする。
- ・班で協力して、発表をする。
- ・お互いの頑張りを認め合う。

2. 言語材料

絵本に出てくる表現すべて

3. 教材・教具

相互評価表, 撮影用ビデオ, まとめ用紙

4. 展開(6M)

時間	活動内容	教師の支援	使用教材
1分	1. あいさつ		
8分	2. 発表の準備をする。	・今日の発表のねらいを確認する。	
30分	3. 班ごとに発表する。 発表側 ・工夫した点, 改善した点を発表する。 聞く側 ・相互評価シートに記入する。 ・他班のよいところに気づく。	・互いの工夫しているところを良く見るようにさせる。 (【表】班で協力して発表する。)	ビデオ 相互評価表
10分	4. 互いの感想を出し合う。	・頑張った点, 良かった点, 工夫した点を中心に意見を交換させる。	
25分	5. 撮影したビデオを観る。	・自分の班の様子を観させる。	
16分	6. 取り組み全体を通してのまとめを書く。 ・あいさつ	・これまでの活動をまとめ用紙に書かせ振り返らせる。	まとめ用紙